

管理番号 23588

株 式 会 社 古 垣 建 設 殿

古 平 川 改 修 工 事

平 成 24 年 3 月

品 質 管 理 試 験 報 告 書
(現 場 密 度 試 験)

 北海道総合企画コンサルタント株式会社

本 社 / 〒047-0017 小 樽 市 若 松 1 丁 目 9 番 14 号
TEL : 0 1 3 4 - 2 3 - 0 9 8 5
FAX : 0 1 3 4 - 2 6 - 6 6 1 0

はじめに

このたび、貴社ご依頼の品質管理試験結果がまとまりましたので

ご報告申し上げます。

また、関係各位に厚く御礼申し上げます。

尚、ご質問・お問い合わせ等がございましたら御遠慮なく申し付け下さい。

〒045-0017 小樽市若松1丁目9番14号
北海道総合企画コンサルタント株式会社

試験担当者:竹内雅啓

Tel (0134)-23-0985

FAX (0134)-26-6610

試 驗 結 果

現 場 密 度 試 驗

JGS 1611		突き砂による土の密度試験			
調査件名 古 平 川 改 修 工 事		試験年月日 平成 24 年 2 月 14 日			
地点番号(地盤高) SP419.09(3層目)		試験者 竹 内 雅 啓			
I. 試験用砂の密度の較正					
測定 No.		1(1回目)	1(2回目)	1(3回目)	4
較正容器と砂の質量	m_2 g	21862	21872	21888	
較正容器の質量	m_1 g	6004	6004	6004	
較正容器の容量	V cm^3	9820	9820	9820	
乾燥密度	$\rho_{ds}=(m_2-m_1)/V$ g/cm^3	1.615	1.616	1.618	
II. 試験用砂の乾燥密度		ρ_{ds} g/cm^3			1.616
III. 測定					
測定器 No.		1	土質名称	GS-Cs	
試験孔 No.		1			
最大粒径	mm	75			
試験方法		B法			
容器 No.		1			
容器質量	g	28			
(試験孔から取り出した土+容器)質量	g	17999			
試験孔から取り出した土の湿潤質量	m_3 g	17971			
(試験用砂+容器)質量	m_4 g	18000			
(残った試験用砂+容器)質量	m_5 g	1193			
ヘースプレート部の砂の質量	m_p g	876			
試験孔の体積	$V_0=(m_4-m_5-m_p)/\rho_{ds}$ cm^3	9858			
湿潤密度	$\rho_t=m_3/V_0$ g/cm^3	1.823			
乾燥密度	$\rho_d=\rho_t/(1+\omega/100)$ g/cm^3	1.582			
含	容器 No.	7			
	ma	g	1077.70		
	mb	g	953.36		
	mc	g	75.88		
水	ω	%	14.17		
	容器 No.	8			
	ma	g	1080.53		
	mb	g	940.02		
比	mc	g	79.58		
	ω	%	16.33		
	平均値 ω	%	15.3		
平均値	含水比 ω	%	15.3		
	湿潤密度 ρ_t	g/cm^3	1.823		
	乾燥密度 ρ_d	g/cm^3	1.582		

特記事項

・締固め度の算出

$$Dc = \frac{\rho d}{\rho d'} \times 100$$

ここに、

DC: 締固め度(%)

ρ_d : 締固め後の現場における乾燥重量(g/cm^3)

ρ_d' : 最大乾燥密度(g/cm^3)

ゆえに、

$$= \frac{1.582}{1.710} \times 100$$

$$= 92.5 \quad (\%)$$

JGS 1611		突き砂による土の密度試験			
調査件名 古 平 川 改 修 工 事		試験年月日 平成 24 年 2 月 14 日			
地点番号(地盤高) SP399.09(6層目)		試験者 竹 内 雅 啓			
I. 試験用砂の密度の較正					
測定 No.		1(1回目)	1(2回目)	1(3回目)	4
較正容器と砂の質量	m_2 g	21862	21872	21888	
較正容器の質量	m_1 g	6004	6004	6004	
較正容器の容量	V cm^3	9820	9820	9820	
乾燥密度 $\rho_{ds}=(m_2-m_1)/V$	g/cm^3	1.615	1.616	1.618	
II. 試験用砂の乾燥密度 ρ_{ds}		1.616			
III. 測定					
測定器 No.		1	土質名称	GS-Cs	
試験孔 No.		1			
最大粒径	mm	75			
試験方法		B法			
容器 No.		1			
容器質量	g	28			
(試験孔から取り出した土+容器)質量	g	18245			
試験孔から取り出した土の湿潤質量	m_3 g	18217			
(試験用砂+容器)質量	m_4 g	18000			
(残った試験用砂+容器)質量	m_5 g	1193			
ヘースプレート部の砂の質量	m_p g	876			
試験孔の体積 $V_0=(m_4-m_5-m_p)/\rho_{ds}$	cm^3	9858			
湿潤密度 $\rho_t=m_3/V_0$	g/cm^3	1.848			
乾燥密度 $\rho_d=\rho_t/(1+\omega/100)$	g/cm^3	1.604			
含	容器 No.	11			
	ma	g	1082.49		
	mb	g	958.25		
	mc	g	75.25		
水	ω	%	14.07		
	容器 No.	12			
	ma	g	1080.86		
	mb	g	938.58		
比	mc	g	68.35		
	ω	%	16.35		
	平均値 ω	%	15.2		
平均値	含水比 ω	%	15.2		
	湿潤密度 ρ_t	g/cm^3	1.848		
	乾燥密度 ρ_d	g/cm^3	1.604		

特記事項

・締固め度の算出

$$Dc = \frac{\rho d}{\rho d'} \times 100$$

ここに、

DC: 締固め度(%)

ρ_d : 締固め後の現場における乾燥重量(g/cm^3)

ρ_d' : 最大乾燥密度(g/cm^3)

ゆえに、

$$= \frac{1.604}{1.710} \times 100$$

$$= 93.8 \quad (\%)$$

JGS 1611	突き砂による土の密度試験
----------	--------------

調査件名 古 平 川 改 修 工 事 試験年月日 平成 24 年 2 月 14 日
 地点番号(地盤高) SP399.09(天端) 試験者 竹 内 雅 啓

I. 試験用砂の密度の較正					
測定 No.		1(1回目)	1(2回目)	1(3回目)	4
較正容器と砂の質量	m_2 g	21862	21872	21888	
較正容器の質量	m_1 g	6004	6004	6004	
較正容器の容量	V cm^3	9820	9820	9820	
乾燥密度 $\rho_{ds}=(m_2-m_1)/V$	g/cm^3	1.615	1.616	1.618	
II. 試験用砂の乾燥密度	ρ_{ds} g/cm^3	1.616			

III. 測定				
測定器 No.		1	土質名称	GS-Cs
試験孔 No.		1		
最大粒径	mm	75		
試験方法		B法		
容器 No.		1		
容器質量	g	28		
(試験孔から取り出した土+容器)質量	g	19842		
試験孔から取り出した土の湿潤質量	m_3 g	19814		
(試験用砂+容器)質量	m_4 g	18000		
(残った試験用砂+容器)質量	m_5 g	1127		
ヘースプレート部の砂の質量	m_p g	876		
試験孔の体積 $V_0=(m_4-m_5-m_p)/\rho_{ds}$	cm^3	9899		
湿潤密度 $\rho_t=m_3/V_0$	g/cm^3	2.002		
乾燥密度 $\rho_d=\rho_t/(1+\omega/100)$	g/cm^3	1.720		
含	容器 No.	1		
	ma	g	1085.44	
	mb	g	950.20	
	mc	g	78.25	
水	ω	%	15.51	
	容器 No.	2		
	ma	g	1092.44	
	mb	g	942.25	
比	mc	g	69.58	
	ω	%	17.21	
	平均値 ω	%	16.4	
平均値	含水比 ω	%	16.4	
	湿潤密度 ρ_t	g/cm^3	2.002	
	乾燥密度 ρ_d	g/cm^3	1.720	

特記事項

・締固め度の算出

$$Dc = \frac{\rho d}{\rho d'} \times 100$$

ここに、

DC: 締固め度(%)

ρ_d : 締固め後の現場における乾燥重量(g/cm^3)

ρ_d' : 最大乾燥密度(g/cm^3)

ゆえに、

$$= \frac{1.720}{1.880} \times 100$$

$$= 91.5 \quad (\%)$$

写 真 集

No _____



現場密度試験

測定位置:SP419.09(3層目)

No _____



現場密度試験

測定位置:SP399.09(6層目)

No _____



現場密度試験

測定位置:SP379.10(天端)